

進め！ドクター大竹の会



会報 第13号 2018年6月7日発行

「進め！ドクター大竹の会」総会（3/25）及び役員会（5/9）を経て
「進め！ドクター大竹の会」は発展的解散へ
大竹進氏「会員は ぜひ“市民連合あおもり”へ結集を！」

<2018年総会>

3月25日、青森市民ホールにて「進め！ドクター大竹の会」総会が開催され、青森県内から70名が参加しました。総会の冒頭、大竹進氏から、「来年の選挙に向けた決意表明がはっきりしないために、皆様には大変ご心配をおかけしていることとお詫びします。来年は、県議、県知事、参議院選挙が予定されています。共同代表・古村事務局長と今後について相談し、以下の判断をしました。市民グループ単独で知事選、参院選をたたかうことは難しい。態度を先延ばしすることは、

候補者擁立に悪影響を及ぼす。佐井村の土地が決まり診療所建設のめどがついた。佐井村プロジェクトに全力投球し、来年の選挙には立候補しない。しかし、政治活動は継続し、その場を市民連合あおもりに移し市民と野党の共闘を目指す、次世代の人が立候補できるようにサポートしたい。」と発言しました。

また、古村事務局長は「会を解散したい。残金は、沖縄知事選、六ヶ所村長選挙、反原発・反核燃をめざす新しい政治団体等に寄付したい。」と提案しました。しかし、参加者からは「全力で安倍政権と闘わなければならないときに解散は納得できない」「解散後に受け皿になるものを作り発展的解散にできないか」などの意見が出され、今後の対応については、役員会で検討することになりました。

<2018年第1回役員会>

5月9日に役員会が開催されました。大竹進氏の「選挙には出馬しない」という決意に変わりはなく、また、「会の趣旨からいっても、会は解散すべきである」という意見が多く出され、「進め！ドクター大竹の会」は解散することになりました。

そのうえで、青森県内での「安保法制の廃止と立憲主義の回復、改憲反対、原発廃止」を求める市民運動を継続していくために、「市民連合あおもり」に協力し、会員の皆さんには、「市民連合あおもり」への参加をお願いするよう呼びかけること、「進め！ドクター大竹の会」の資金の残金は六ヶ所村長選挙や「市民連合あおもり」の政治団体「市民連盟あおもり」に寄付することなどを決めました。

左から大竹進氏、古村一雄事務局長(3/25総会にて) ↓



【「進め！ドクター大竹の会」解散総会】

3年間にわたり、物心両面でご支援いただき、一緒に活動していただいたことに感謝申し上げます。
7月29日(日)18:30~リンクモア平安閣市民ホール(青森市民ホール)会議室1

懇親会：総会后 青森市民ホール内 ムスケルツォ2にて 会費1000円

「進め！ドクター大竹の会」公式ホームページ：<http://susume-dr-otake.jp>

大竹進 公式ホームページ：<http://otake-susumu.jp>

「進め！ドクター大竹の会」Twitter @rb041

遠藤順子氏出馬表明～「六ヶ所村に新しい風を起こす会」結成

六ヶ所村長選挙 6/19 告示 6/24 投開票

6月19日告示、6月24日投開票の六ヶ所村長選挙は、核燃サイクルに反対する立場の候補者の擁立が遅れていましたが、5月27日に開催された六ヶ所村長選挙実行委員会で青森市在住の医師 遠藤順子氏が出馬することを承認し、みんなで力を合わせて闘うことに合意しました。翌5月28日に遠藤氏は県庁記者クラブで出馬表明の記者会見を行い、「核燃サイクル・再処理に反対する」と明言しました。核燃サイクル推進派の現職 戸田衛村長が早くから出馬を表明していましたが、核燃反対派の候補者擁立が難航していたため、「無投票になるのでは？」と心配されていましたが、推進派の「無投票当選」は回避できる形となりました。遠藤順子氏を支援するのは、市民団体「六ヶ所村に新しい風をおこす会」です。大竹進氏は副会長として遠藤氏を全力で応援します。全国で活動している皆様も「風の人」となって遠藤氏を応援していただけますようよろしくお願いいたします。

【遠藤順子氏の立候補の理由と政策】

立候補の理由

1. 核燃サイクルの問題は、六ヶ所村のみの問題ではなく、青森県民、そして日本国民全体に関わる問題です。日本各地で長年、核燃サイクル・再処理に反対してきた人々に敬意を表し、また、その思いを広く伝えるためには、核燃推進派の無投票当選にするわけにはいきません。
2. 放射線検査などに関わる医師として、3.11後、内部被曝のことなどを中心に勉強してきました。そして、今まで、放射能による内部被曝の生物学的影響に関しては、あまりにも過小評価され、また、未解明の部分も多くあるにも関わらず、「安全」という言葉が流布されてきました。そのことに人類の危機、地球上のあらゆる生物の危機を感じています。



左から 鳴海清彦「風を起こす会」会長
遠藤順子氏、浅石紘爾 同副会長

主な政策

- 1.核燃サイクル、再処理を中止します。
- 2.第一次産業を大切に、自然を生かした新たな産業を興します。
- 3.精神的豊かさを育み、命を大切にします。
- 4.女性の声を村政に生かします。
- 5.「医療を守る条例」を作ります。

写真は青森県庁での記者会見の様子 (5/28)

<編集後記> 「日本の原発・核燃政策を変えるには、青森県が変わらなければならない」

私たち「進め！ドクター大竹の会」は、そのように訴えて3年前に知事選のために立ち上がりました。しかし、この3年のうちに日本は、立憲主義が破壊され、民主主義は消えうせてしまいました。私たちはこれからも形を変えて、青森県を変えるために、安倍政権を倒し、立憲主義、民主主義を取り戻すまで闘い続けます。今まで本当にありがとうございました。

青森県を変えよう！大竹さんと進む私たちの会

(略称「進め！ドクター大竹の会」)

住所：〒038-1306 青森市浪岡福田2丁目13-8

Tel. 0172-62-3300 FAX: 0172-69-1106

E-mail: susume.dr.otake@gmail.com

